

3類型	鈹工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-046
地域資源名	伝統的工芸品(九谷焼)	認定日	平成20年 3月26日
地域	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市町	所管省庁	経済産業省

事業名: 高白色度白磁・無鉛和絵具による新たな九谷焼様式の開発と市場の開拓

会社名: 今九谷窯

所在地: 石川県加賀市大聖寺錦町13-37甲

連絡先: TEL: 0761-72-0901

HP: <http://www.imakutanigama.com/>

FAX: 0761-73-3800

事業概要(新たな活用の視点)

- ・石川県は、日本を代表する色絵磁器の一つ、九谷焼の産地である。しかし、グローバル化やライフスタイルの変化等により、出荷額は減少する一方であり、新たな技術開発が求められている。
- ・当社は、石川県九谷焼技術センターが開発した透光性粘土にカオリン等を添加し独自精製することで、高白色度の粘土を開発した。加えて、同技術センターが開発した無鉛和絵具を独自改良することで、貫入(絵具のひび割れ)の無い無鉛和絵具を開発した。
- ・さらに、上記両技術を駆使し、新たな九谷焼様式を創出した。



【 禅九谷様式 】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・九谷焼産地において、「高白色度白磁」と「無鉛無貫入和絵具」を組み合わせて使用しているのは当社のみである。
- ・この「高白色度白磁」と「無鉛無貫入和絵具」は、国内他産地や海外食器メーカー等と競争する上での必須条件であり、さらに日本そして九谷独自の美意識を付加することで競争力を高める。

◆市場性

- ・ライフスタイルの洋風化や鉛害への関心の高まり等により、白色度が高く無鉛和絵具を使用した食器のニーズが国内外で高まっている。
- ・九谷焼は、海外でも特に中国の富裕層に大きな潜在的需要がある。

◆販路

- ・国内市場は、国内大手デパート・専門店等での展開を中心とする。
- ・海外市場は、まずは中国を中心として開拓し、その後、欧米等へも拡充する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・各工程を担当する専門事業者との連携体制を構築している。
- ・「高白色度白磁」や「無鉛和絵具」のベースとなる材料は、地域事業者から調達している。
- ・石川県九谷焼技術センターとは、成分分析や技術改良で連携している。



【 華九谷様式 】